

令和6年度通常総会次第

日時: 令和6年5月28日(火)
15時～18時30分
会場: 静岡商工会議所会館
401会議室およびオンライン

第1部 通常総会

1. 議事 15:00～15:30

- (1) 開 会
- (2) 理事長挨拶
- (3) 議長選出
- (4) 議事録署名人選出
- (5) 議 案
第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算書報告承認の件
第2号議案 令和6年度事業計画(案)及び事業予算(案)承認の件
第3号議案 理事選任の件
- (6) 閉 会

第2部 記念講演 15:45～17:00

演 題 「災害と情報通信・情報システム」
講 師 湯瀬 裕昭 様
(静岡県立大学経営情報学部教授/ ICT イノベーション研究センター長)

第3部 会員交流会 17:15～18:30

静岡商工会議所 4階 401 会議室

第1部 通常総会 議 案

第1号議案 令和5(2023)年度事業報告及び決算報告

I. 令和5(2023)年度事業報告

自:令和5年4月1日

至:令和6年3月31日

令和2年度末に、3部会並びに理事会の参加も得て、今後3年から5年後の当協会のあるべき姿を全体で協議し、「SIIAアクションプラン2021宣言」にまとめあげ、アクションプラン3年目の本年度は、次に向けた改善或いは新たな行動を起こす時として捉え、次なるアクションプランの検討に入った。

部会横断型の事業展開や理事及び3つの部会メンバーによるプロジェクト会議「ワークセッション」開催という新たな試みにより、次年度以降の協会の在り方について協議を重ね検討を進めた。

また、各部会を主体に実施した事業は、質・量ともに例年以上に充実したものとなったが、その内容に対して当初計画した予算範囲内で効率の良い運営ができた。次々年度以降に控える市からの補助金減額に際し、補助金依存度を下げて運営ができるよう、創意工夫を重ねて行く対応が可能なことを実証することとなった。

1. 各部会活動報告

(1) 人材育成・教育研修部会

アクションプラン部会宣言:

「市場や技術の動向を踏まえ、会員のために役立つ情報と学習機会を提供し続けます。」

① 「ITパスポート取得講座」実施

SIIAを含む一般企業社員向けに、業務へ効果的に活用するための国家試験「ITパスポート」の資格取得を目指す「ITパスポート取得講座」をオンラインで実施(受講はオンデマンド随時聴講可能=有料)

講 師:(株)浜名湖国際頭脳センターIT事業部次長 米良直樹氏

実施日:令和5年4月5日以降(オンデマンド随時継続配信中)

会 場:オンライン開催

収 支:(株)浜名湖国際頭脳センター企画に対する「斡旋事業」のため無償提供

② 通常総会後の記念講演として、「地域未来レポートDraw our MIRAIZ ～地域から未来を変えていく～」をテーマに講演会を開催した。(参加51名)

講 師:NTTビジネスソリューションズ(株)取締役静岡ビジネス営業部長 瀬戸伸亮氏

実施日:令和5年5月26日

会 場:静岡商工会議所及びオンライン開催

支 出:99,634円(講師料、音響設備費等)

③ 静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」実施

前編として、「デザインパターン入門編」を開講し、設計・プログラミングの実践的なスキルを習得するための静岡大学情報学部オリジナルカリキュラムを技術者向けに提供した。(参加6名)

講 師:塩見彰睦氏(静岡大学情報学部教授)

講 師:野口靖浩氏(同准教授)

実施日:令和5年8月24日～26日、9月28日～30日(6日間)

会 場:静岡大学 静岡キャンパス教室

収 入:180,000円

支 出:880,000円

- ④ 国内視察「社会実装型オープンイノベーションによる事業共創推進拠点視察」実施
5月に開催した「通常総会」後の記念講演内容を受けて、大阪京橋にあるNTT 西日本が運営するオープンイノベーション施設「QUINTBRIDGE」ならびに大阪梅田の新たなビジネス共創空間「LINKSPARK」視察を実施した。(参加 8 名)
実施日:令和 5 年 11 月 21 日~22 日
会 場:(1)QUINTBRIDGE (大阪市都島区東野田町)
(2)LINKSPARK (大阪市北区大深町)
収 入: 40, 000円
支 出:131,124円
- ⑤ IT スキルニーズ調査
人材育成教育研修部会メンバーの「専門学校静岡電子情報カレッジ」と連携して、IT 分野の教育機関として産業界のニーズを把握し、教育内容、教材に反映するために会員を対象とした「IT スキルニーズ調査」を実施した。
実施日:令和 5 年 12 月 5 日~令和 5 年 12 月 28 日
方 法:Google アンケートフォームによる
回 答:会員企業 10 社(10 名)
- ⑥ 「高校生向けプログラム講座」実施
静岡県立島田商業高校情報ビジネス科・情報処理部の生徒を対象に、SIIA 会員企業の講師による「OpenCV 活用プログラミング講座」を開催した。(参加 21 名)
講 師:専門学校静岡電子情報カレッジ 中村健太郎講師及びスタッフ
実施日:令和 6 年 2 月 10 日
会 場:静岡県立島田商業高等学校
支 出:120, 000円
- ⑦ 会員ニーズセミナー「サイバーセキュリティ講座」実施 (参加 20 名)
講 師:公安調査庁 公安調査専門職 中村信貴氏
実施日:令和 6 年 2 月 21 日
会 場:静岡商工会議所

(2) ビジネス・マッチング部会

アクションプラン部会宣言:

「会員相互及び産・学・官との交流を活性化し、ビジネスの機会創出をめざします。」

- ① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用し、「会員企業交流セミナー」及び会員交流会を年 4 回開催した。

・第 1 回:(株)New デイシス 令和 5 年 4 月 18 日

会 場:静岡商工会議所及びオンライン開催

発表者:望月則江統括部長、大村紘登部長

参加者:21 名(会場 17 名、オンライン 4 名)

・第 2 回:(株)プロフィックス 令和 5 年 7 月 25 日

会 場:静岡商工会議所及びオンライン開催

発表者:古瀬潔専務取締役、伊藤健太氏

参加者:26 名

・第 3 回:協立電機(株) 令和 5 年 10 月 24 日

会 場:静岡商工会議所及びオンライン開催

発表者:新井由朗氏、遠藤勝己氏、稲毛興人氏

参加者:25 名(会場 21 名、オンライン 4 名)

・第4回:学校法人静岡理工科大学 令和6年2月27日
会 場:静岡商工会議所及びオンライン開催
発表者:SIST 静岡駅前キャンパス 荒木茂氏
参加者:28名(会場23名、オンライン5名)

*「会員交流会(親睦会)」は、令和5年7月25日(第2回会員交流会)及び令和6年2月16日(「SIIA 企業若手社員交流会」)開催後に同じ会場において、それぞれ前段の会場出席者の参加により開催した。
支 出:203,206円(会場借用料、親睦会経費等)

② 「会員交流サイト」の構築

ビジネス・マッチングの機会を創出するための「会員交流会」の開催と併せ、会員企業の「イチ推し」情報などを掲載し、会員交流に資する情報提供を目的とした「会員交流サイト」の企画及び実際のウェブサイト基盤の構築を行った。

管理:(株)ウェブサクセス(SIIA 会員)

実施日:令和5年4月1日～令和6年3月31日(随時対応)

支 出:51,384円

③ 「次世代リーダー交流会」開催

本年度初の試みとなる人材育成教育研修部会とビジネス・マッチング部会連携による「会員交流セミナー」を開催し、冒頭の人材育成教育研修部会の担当による講演会「地域で共に考える VIRTUAL SHIZUOKA 構想とビジネスの可能性」の受講後、会員企業の若手社員の皆様にも協会活動を知って頂くとともに静岡IT企業の横の繋がりを作り、静岡地区のIT業界の活性化を図るべく、若手社員を中心とした討論交流会を企画した。(参加34名)

講 師:静岡県デジタル戦略局 参事 杉本直也 氏

実施日:令和6年2月16日

会 場:レイアアップ御幸町ビル

支 出:151,822円

(3) 人材開拓推進部会

アクションプラン部会宣言

「産・学・官の連携を深め、学生へICTの魅力を訴求し、次の担い手の発掘をめざします。」

① 大学生向け就職ガイダンス「IT パスポート試験のご紹介&IT 業界で働く先輩に話を聞こう in 静岡県立大学」開催

(1)講演:「IT パスポート試験のご紹介」(参加132名)

講 師:IT 人材育成センター国家資格試験部 笠井優一氏

(2)「IT業界で働く先輩達の資格事情」

登壇者:人材開拓推進部会会員企業3社社員

実施日:令和5年6月28日

会 場:静岡県立大学経営情報学部教室

支 出:66,000円

② 静岡大学就職ガイダンス「就活で有利な IT 系国家資格の紹介」開催(参加14名)

講 師:IT 人材育成センター国家資格試験部 笠井優一氏

実施日:令和5年7月20日

会 場:静岡大学静岡キャンパス及びオンライン開催「常葉大学就職ガイダンス」開催

支 出:27,500円

③ すべての社会人が備えておくべき IT の基礎知識である IT パスポート試験紹介セミナー開催(参加32名)

- (1)講演:「文理問わず大学生に必要な情報活用スキル」
講 師:IT 人材育成センター 国家資格試験部 笠井優一氏
(2)「IT業界で働く先輩に話を聞こう」

登壇者:IT企業に勤める常葉大OG/OB

実施日:令和5年11月9日

会 場:常葉大学 草薙キャンパス文科系大学生向け「ITパスポート取得講座」実施

支 出:66,000円

④ 文科系大学生向け「ITパスポート取得講座」実施

講 師:静岡産業技術専門学校 教員(2名)

実施日:令和5年12月11日～令和6年2月13日(計8回開催)

会 場:1.オンライン受講 2.オンデマンド(動画視聴)受講 39名(申込数)

支 出:412,500円

⑤ 部会情報交換会を開催し、各事業の反省及び今後の方針などの協議を行った。

実施日:令和5年7月31日、11月30日、2月29日

会 場:静岡商工会議所会議室他

支 出:29,580円

(4) 「部会連携プロジェクト」実施

アクションプランをより実効性あるものに向けて行くため、3つの部会を横断した「部会連携プロジェクト」を立ち上げた。「アクションプラン2021」の検証をベースにした議論を行うため、理事および3部会メンバー全員を対象に「ワークショップ」(全6回)を開催して意見集約を行った。その結果を次年度以降の事業に反映させて行く。

実施日:令和5年10月26日、30日、11月16日、29日、12月27日及び

令和6年3月14日

参加者:理事および部会員延べ30名

(5) 会議交流事業

通常総会、理事会、運営委員会、事業部会および会員交流会を年間事業計画に従って開催した。

① 総会

5月26日・・・通常総会

② 理事会、交流会

4月18日 理事会・第1回会員交流会

5月16日 理事会

6月20日 //

7月25日 理事会・第2回会員交流会

9月26日 理事会

10月24日 理事会・第3回会員交流会

11月28日 理事会

12月19日 //

1月23日 //

2月27日 理事会・第4回会員交流会

3月26日 拡大理事会

- ③ 事業部会及び運営委員会
 4月18日 事業部会・運営委員会
 5月16日 //
 6月20日 //
 7月25日 //
 8月22日 //
 9月26日 //
 10月24日 //
 11月28日 //
 12月19日 //
 1月23日 //
 2月27日 //
 3月26日 拡大運営委員会

(6) 地域連携事業

① JISA (情報サービス産業協会)の会員として活動し、地域高度化事業助成に静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」の「デザインパターン入門編」及び「テスト設計とテスト駆動開発入門編」で応募して採択された。

② 静岡大学グローバル共創科学部より「データエンジニアリング基礎」動画コンテンツ作成受託(令和5年及び6年度)した。これは人材育成教育研修部会及び人材開拓推進部会メンバー有志企業7社が参加しての部会連携事業となった。

収入:495,000円

支出:494,100円

④ 他組織の企画を協会員に対して情報提供や事業協力に努めた。

・SIIA ウェブサイトから随時催行情報などを会員ならびに地域などに向けて発信し、SIIA事業の周知を図った。

・県および市ならびに静岡商工会議所の関連事業に参加・協力した。

・国、県、市など行政に関する情報をSIIA会員に適時メール配信した。

・情報サービス産業協会(JISA)はじめ県内外の情報関連団体の情報受発信に務め、必要な情報を適時SIIA会員にメール配信した。

・県、市に関わる諸団体事業への協力(しずおか男女共同参画推進会議、ふじのくに i-Construction 推進支援協議会、「静岡市コ・クリエーションスペース」&「静岡県イノベーション拠点 SHIP」との連携・活用、富士山静岡空港利用促進協議会等)

・大学生向け就職情報サイトをSIIAホームページ上にリンクを張り、当協会会員企業情報の提供を行った。

(7) 広報事業

① HP プロバイダー管理

② HP 運用管理・コンテンツ保守

2. 会員数 令和6(2024)年3月末現在 69 会員

<会員種別内訳>

ICT 会員: 35(うち中途入会:1)

一般 会員: 18

個人 会員: 2

会費免除会員:14

Ⅱ. 令和5(2023)年度決算報告

令和5年度決算報告書

期間:自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

特定非営利活動法人静岡情報産業協会
静岡市葵区羽鳥7丁目6番37号

令和5年度収支決算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人静岡情報産業協会

(単位:円)

<収入の部>

勘定科目	決算額	予算額	比較 増減	備考
会費収入	3,140,000	3,100,000	40,000	ICT会員34(+半期1), 一般18, 個人2, 会費免除会員14
補助金収入	2,878,371	4,050,000	△ 1,171,629	静岡市
事業収入	1,075,000	1,320,000	△ 245,000	
1.教育研修事業	715,000	950,000	△ 235,000	視察参加費、セミナー講習料等
2.ビジネスマッチング	0	0	0	交流会費
3.人材開拓推進	0	0	0	
4.地域(連携)事業	300,000	300,000	0	JISA交付金
5.会議交流費	0	0	0	懇親会会費(総会、運営(委))
6.その他事業収入	60,000	70,000	0	理事役員新年交流会費
	7,093,371	8,470,000	△ 1,376,629	
繰越金より	118,279	118,279		
雑収入	52	0	52	
1.預金利息	52	0	52	預金利息
合計	7,211,702	8,588,279	△ 1,376,577	

<支出の部>

(単位:円)

勘定科目	決算額	予算額	比較 増減	備考
事業費	3,667,652	4,950,000	△ 1,282,348	
1.教育研修・人材育成	1,131,124	2,150,000	△ 1,018,876	セミナー・講座開催費、講師謝金等
2.ビジネスマッチング	203,206	400,000	△ 196,794	会員交流会開催費
3.人材開拓推進	1,096,586	1,100,000	△ 3,414	セミナー開催費、講習委託費、コンテンツ制作費等
4.会議交流	414,736	500,000	△ 85,264	会場費等(総会、理事会、運営委員会、事業部会)
5.地域連携	250,000	250,000	0	JISA
6.広報	572,000	550,000	22,000	協会情報内外発信費、HP管理費等
管理費	3,300,578	3,638,279	△ 337,701	
1.人件費	0	0	0	給与・法定福利費
2.事務委託費	2,640,000	2,640,000	0	事務局業務
3.旅費交通費	21,500	10,000	11,500	出張費、交通費、駐車料等
4.通信費	141,033	200,000	△ 58,967	FAX代、電話代、郵送費
5.交際費	0	10,000	△ 10,000	香典・見舞金、会合費等
6.印刷費	8,281	20,000	△ 11,719	資料印刷費、理事用名刺等
7.賃借料	0	0	0	クラウドストレージ(セキュアSAMBA)賃貸料
8.水道光熱費	0	0	0	事務局電気料等
9.ソフトウェア費	240,394	230,000	10,394	Webex、Zoomアカウント4本
10.租税公課	0	0	0	
11.事務用品費	0	100,000	△ 100,000	事務局PC他
12.広告宣伝費	31,240	40,000	△ 8,760	
13.諸会費	44,500	35,000	9,500	静岡商工会議所、するが企画観光局、静岡経済研究所会費
14.手数料	173,630	175,000	△ 1,370	税理士及び登記費用、振込手数料等
15.予備費	0	178,279	△ 178,279	
繰越金へ	243,472		243,472	
合計	7,211,702	8,588,279	△ 1,376,577	

貸借対照表

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人静岡情報産業協会

(単位:円)

借方	貸方
科目 金額	科目 金額
I. 資産の部	II. 負債の部
1. 流動資産	1. 流動負債
現金 102,511	未払金 0
普通預金 3,421,578	預かり金 0
仮払金 0	流動負債合計 0
未収金 3,373,371 (静岡市補助金他)	2. 固定負債
流動資産合計 6,897,460	固定負債合計 0
	負債合計 0
2. 固定資産	III. 正味財産の部
電話加入権 74,984	1. 正味財産
固定資産合計 74,984	前期繰越
	正味財産 6,972,444
	当期正味財産
	増加額 0
	正味財産合計 6,972,444
資産合計 6,972,444	負債及び正味財産合計 6,972,444

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)


摘要	金額
<資産の部>	
流動資産	
現金 102,511	102,511
普通預金 静岡銀行呉服町支店 3,421,578	3,421,578
仮払金 0	0
未収金 (静岡市補助金: 2878371) 3,373,371	3,373,371
流動資産合計	6,897,460
固定資産	
電話加入権 INS64設置 74,984	74,984
固定資産合計	74,984
資産の部合計	6,972,444
<負債の部>	
流動負債	
未払金 0	0
預かり金 0	0
負債の部合計	0
差引正味財産	6,972,444



監査報告書

令和5年度特定非営利活動法人静岡情報産業協会の収支決算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、正確妥当であることを認めます。

令和6年4月17日

監事 上田 和博 

監事 吉兼 正哲 



I. 令和6(2024)年度事業計画(案)

自: 令和6年4月1日

至: 令和7年3月31日

1. 事業計画の概要

当協会(SIIA)は平成2(1990)年に、「情報の産業化と産業の情報化」を掲げて設立され、静岡に情報産業を醸成するとともに、地域の企業、住民あるいは行政に対して情報化に協力することを目指して事業を進めて来た。

その後我が国でも、経済産業省が2018年に「デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進するためのガイドライン」を取りまとめ、DXの定義を「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と、明確かつ具体的に示している。

このことを受けてSIIAでは、「データ活用とデジタル技術」の面で地域の企業や行政のDX化を応援することを視野に入れ、DXに欠かせない最先端のデジタル技術の習得を促進するとともに、習得した技術或いは知識の普及ならびに啓蒙をめざす。

また、令和3年度の「SIIAアクションプラン2021宣言」から3年が経過する中で、昨年度末までに理事ならびに3部会のメンバーによる実績の検証から得られた結果により、本年度は新たな「アクションプラン」を策定するとともに、協会のミッションを再確認し、部会構成の見直しと機能の強化を図り、令和7年度からの「会員の、会員による、会員のため」になる新たなSIIA作りを目指す。

(1) 人材育成教育研修部会

「市場や技術の動向を踏まえ、会員のために役立つ情報と学習機会を提供し続けます。」

移り変わりが激しいICTの世界において、常に市場や技術の動向を踏まえ会員のために役立つ情報と学習機会を提供することに主眼を置き、本部会が有する特性を活かし、新たな技術や今後のICT業界の方向性を示唆する講師陣を招聘してセミナー、研修会を開催し、会員にとって有用な最新情報の提供や技術者の技術力向上に役立てる。

また、地域や業界が抱える課題の解決や、地域全体の教育・研究力を高めることを目的に会員企業の技術者育成研修を継続する。この技術者育成研修事業は、毎年一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)の地域連携事業に応募しているが、本年度も同様に補助金を得て地域ビジネス活性化に資する活動を実施する。

さらに、視察研修事業については、昨年度から国内視察研修として再開したが、本年度も昨年度と同様、先進事例など学ぶべき地域の探索を行い、そこから時代の先端をいく事例の研究を深めて行く。

(2) ビジネス・マッチング部会

「会員相互及び産・学・官との交流を活性化し、ビジネスの機会創出をめざします。」

これまで3年間、会員相互及び地域との交流を深め新たなビジネスの機会創出を図る機会を増やすことを目的に、会員企業が保有する自社の得意技術やサービスなどを共有し、そこから相互交流を発生させる仕組みを継続的に行った結果、会員にも相応の評価を得ている。

本事業は、会員交流会を通じて、会員同士の知り合う機会を深め、そこから新たなビジネスチャンスを創出することを狙いとしてきた。過去3年継続してきた会員企業相互の「会員交流会」を更に裾野を広げ交流を深めることを狙って、会員企業の若手社員を対象として「次世代リーダー交流会」を開催する。

また、従来通り各社の特長や特性を訴求することを目的に SIIA のウェブサイト上に各社のコンテンツを逐次更新して、更なる会員交流機会の増大を設けていく。

更に、会員企業がこれまで培ってきた技術やノウハウを互いに共有し、協会から外部に目を向け、自治体や小規模事業者が抱える課題解決策について具体的な提案できるように、部会横断による体制ならびに機会づくりを強化していく。

(3) 人材開拓推進部会

「産・学・官の連携を深め、学生へ ICT の魅力を訴求し、次の担い手の発掘をめざします。」

ICT 業界においても慢性的な人材不足の問題を抱え、その解決のための事業を中心に活動している「人材開拓推進部会」では、本年度も継続して同様のテーマにより地元の ICT 企業の人材確保をテーマに活動する。

また、当協会の特色の一つでもある、地元の大学、専門学校などの教育機関との連携は近年になって更に強まっており、これまで積み上げてきた各種事業のノウハウを活かし、本年度も継続して大学生の中でも特に文系の学生を対象に、ICT 企業の魅力と仕事のやりがいを知る機会を提供する企画を展開する。

具体的な方策として、令和 3 年度から実施している「IT パスポート取得講座」は、地元の文系大学生向けに開講してきたが、本年度は、更に広く多くの大学生に IT に関する知識と情報を与える機会をより充実させ、会員企業の技術者あるいは経営者などを講師とした「ICT 講座」の開催を目指す。

(4) 部会連携プロジェクト

昨年度、「アクションプラン 2021」の検証を行うために立ち上げた、理事ならびに 3 部会全員参加のプロジェクトによる「ワークセッション」を実施して、その結果本年度以降のアクションプランを策定した。

この新たなアクションプランにより、本年度はその実効性を高めるために、3つの部会を横断した「部会連携プロジェクト」により、アクションプランをベースにした議論を活発にして、協会の外部に向けた提言活動を含む発信力及び行動力の向上を目指す。

2. 事業の骨子

以上を踏まえ、当協会本年度事業を次のように計画する。

(1) 人材育成・教育研修部会の事業

- ① 通常総会開催時に講師を招き講演会を開催
 - ・実施時期: 令和6年5月
 - ・開催場所: 静岡商工会議所会議室
 - ・経費予算: 20万円

- ② 国内でのワーケーション体験や視察ツアーを実施して業界の最先端情報を収集
 - ・実施時期: 令和6年6月～令和7年2月
 - ・開催場所: 未定
 - ・実施内容: 国内の IT 関連施設などを視察し、新たな働き方を知り、考える機会を作る
 - ・収入予算: 25万円
 - ・経費予算: 40万円

- ③ 地域 ICT 企業の地力向上のための技術研修事業を、静岡大学の協力を受けて実施
 - ・実施時期: 令和6年8月～9月
 - ・予定人数: 20人
 - ・開催場所: 静岡大学

- ・収入予算:60万円
- ・経費予算:110万円

- ④ これからの IT 技術者に必要なスキルをピックアップし、ICT 最新技術向けのビジネス講座を実施
 - ・実施時期:令和6年9月～令和7年2月
 - ・開催場所:静岡市内(未定)
 - ・収入予算:10万円
 - ・経費予算:20万円
- ⑤ 会員のニーズに応じたセミナーを実施
 - ・実施時期:令和6年10月～令和7年2月
 - ・開催場所:静岡市内(未定)
 - ・経費予算:10万円
- ⑥ 高校生向けに ICT 講座を開催
 - ・開催時期:令和6年8月～12月
 - ・開催場所:未定
 - ・経費予算:10万円
- ⑦ 社会人向けに「IT パスポート取得講座」を開催
 - ・開催時期:令和6年4月～令和7年3月
 - ・開催方法:オンライン(オンデマンド)講習

(2)ビジネス・マッチング部会の事業

- ① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用した交流会及び会員企業同士の交流を深める事を目的とした会員交流会を開催
 - ・開催時期:令和6年4月～令和7年2月の間で4回
 - ・開催場所:静岡商工会議所会議室
 - ・経費予算:20万円
- ② 会員企業紹介コンテンツのメンテナンスおよびウェブサイト上への掲載情報の更新
 - ・SIIA ウェブサイトに掲載されている各社のコンテンツの随時更新し広報する
 - ・会員企業紹介コンテンツを会員交流会に活用
 - ・開催期間:令和6年4月～令和7年3月
 - ・経費予算:10万円
- ③ 自治体及び小規模事業者向け DX による業務変革課題に対する提案
 - ・地域の ICT 化に寄与するため、ICT に関する専任者がいない組織や小規模事業者が抱える課題をヒアリングして具体的な解決策を提案或いは ICT 企業とのマッチングを図る
 - ・実施時期:令和6年7月～令和7年2月(適宜開催)
 - ・経費予算:15万円

(3)人材開拓推進部会の事業

- ① 学生向け ICT 講座
 - ・大学生、特に文系学生向けに、IT、業界の魅力を感じてもらい、且つ、資格取得を支援する講座を、年間を通して開催
 - ・経費予算:65万円

- ②「未来志向の学生向けセミナー」の企画・立案、実施
 - ・静岡大学、静岡県立大学、常葉大学、静岡英和学院大学等 SIIA 会員大学での開催を計画
 - ・経費予算:40万円
 - ③ IT 系会員企業の採用担当者と県外の IT サービス産業協会等との意見交換会
 - ・会員企業の採用担当者と、県外の IT サービス産業協会等との交流を図る事により採用担当者への知見を広げてもらい、協会の参加のメリットを感じてもらう
 - ・参加企業:10 社(20 名)
 - ・経費予算:10万円
- (4)調査研究・交流促進および部会連携プロジェクト事業
- ① 総会時会員交流会を実施
 - ・開催時期:令和6年5月28日(総会・講演終了後)
 - ・開催場所:静岡商工会議所
 - ・参加人数:50人
 - ・経費予算:10万円
 - ② 理事交流会を実施
 - ・収入予算:7万円
 - ・支出予算:10万円
 - ③ 総会・理事会・運営委員会・プロジェクト等の会議開催
 - ・経費予算:25万円
 - ④ 部会連携プロジェクト会議を適宜開催し、今後の SIIA の新たな可能性を見出す。
 - ・経費予算:10万円
- (5)地域連携事業
- ① 業会団体および地域の団体・機関並びに自治体の実施する事業に協力
 - i. 協会員への情報提供のため(一社)情報サービス産業協会(JISA)の入会継続
 - ・経費予算:25万円
 - ii. JISA「地域連携事業」プログラムに参加
 - ・収入予算:30万円
 - iii. 県及び静岡市が開催する「DX」・「オープンデータハッカソン」等の事業に協力
 - iv. 静岡商工会議所「情報文化部会」に参加協力
 - vi. 「地域企業デジタル化推進特別委員会」に参加協力
 - ② 西部／東部ベンダー団体と情報連携する。
- (6)広報事業
- ① 会員に対する情報提供(Web 広報、パンフレット等作製、HP・サーバー管理等)
 - ・経費予算:55万円

Ⅱ. 令和5(2023)年度事業予算(案)

NPO法人静岡情報産業協会令和6度収支予算(案)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人静岡情報産業協会

(単位:円)

<収入の部>

勘定科目	R6年度予算額	R5年度予算額	比較 増減	備考
会費収入	3,010,000	3,100,000	△ 90,000	ICT会員×33、一般会員×17、個人×3、免除会員×14
補助金収入	4,050,000	4,050,000	0	静岡市
事業収入	1,320,000	1,320,000	0	
1.教育研修事業	950,000	950,000	0	視察参加費、セミナー講習料 等
2.B-マッチング事業	0	0	0	
3.人材開拓推進	0	0	0	
4.地域連携事業	300,000	300,000	0	JISA交付金
5.その他事業収入	70,000	70,000	0	理事役員新年交流会費
	8,380,000	8,470,000	△ 90,000	
繰越金より	243,472	118,279	125,193	
雑収入	0	0	0	
1.預金利息	0	0	0	
合計	8,623,472	8,588,279	35,193	

<支出の部>

(単位:円)

勘定科目	R6年度予算額	R5年度予算額	比較 増減	備考
事業費	5,050,000	4,960,000	90,000	
1.教育研修	2,100,000	2,150,000	△ 50,000	セミナー・講座開催費、講師謝金等
2.B-マッチング	450,000	400,000	50,000	会員交流会開催費、提案活動費
3.人材開拓推進	1,150,000	1,110,000	40,000	セミナー開催費、講習委託費、コンテンツ制作費等
4.会議交流	550,000	500,000	50,000	会場費(総会、理事会、運営委員会、事業部会)・プロジェクト運営費等
5.地域連携	250,000	250,000	0	JISA会費
6.広報	550,000	550,000	0	協会情報内外発信費、HP管理費等
管理費	3,573,472	3,628,279	△ 54,807	
1.事務委託費	2,640,000	2,640,000	0	事務局業務
2.旅費交通費	10,000	10,000	0	出張費、交通費、駐車料 等
3.通信費	200,000	200,000	0	FAX代、電話代、郵送
4.交際費	10,000	10,000	0	香典・見舞金・会合費等
5.印刷費	20,000	10,000	10,000	資料印刷費、理事用名刺等
6.賃借料	0	0	0	
7.水道光熱費	0	0	0	
8.ソフトウェア費	230,000	230,000	0	Webex、Zoomアカウント4本
9.租税公課	0	0	0	
10.事務用品費	100,000	100,000	0	事務用品
11.宣伝広告費	40,000	40,000	0	静岡商工会議所名刺広告費
12.諸会費	47,000	35,000	12,000	静岡商議所、するが観光企画局、静岡経済研究所会費
13.手数料	175,000	175,000	0	会計士費用、司法書士費用、振込手数料 他
14.予備費	101,472	178,279	△ 76,807	
合計	8,623,472	8,588,279	35,193	

第3号議案 理事選任の件

1. 理事の候補者は次の通りです。

- ① 稲葉豊穂 静岡商工会議所中小企業相談所 所長
- ② 山本隆秀 静岡ITソリューション株式会社 代表取締役副社長

但し、当該候補者の任期は、前任者の残任期間とします。

*候補者と当協会の間には特別な利害関係はございません。